



## ご挨拶

4月1日に第4代校長として着任した遠藤誠です。前任校は七夕で有名な平塚にある、6年制の学校である平塚中等教育学校に勤務をしておりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。



生徒の皆さんに最初に話をしたのが次のものです。

## 始業式での話の概要

教育は、生徒の未来の幸せのために行われるものです。将来、生徒が幸せになれるよう、教養を身につかせ、世の中で一人前に生きていけるよう、社会性を身につかせなければならないと思います。

世の中の仕事には実に様々な仕事があります。車を作る仕事、車を売る仕事、食品を作る仕事、いろいろあります。

車を作る人も車を売る人も、この車を買った人が快適に安全に乗ることができるよう願っています。食品を作る人々は、よりおいしいもの、より安く手に入れることができるものを追求します。多くの人においしいものを届けたいと思って。



仕事は、仕事を通じて人を幸せにするためにあるものです。車を作り、売ること、買った人に満足感を与える。食品を作る人は食べる喜びを人に与える。人に満足や安心や喜び

を与えることができ、多くの人のために役立っていることが実感できるから、仕事にやりがいを感じる事ができる。だから、知恵を絞り、心から笑顔を表わし、誇りを持つことができる。

学校は、皆さんが将来、幸せになるために必要なことを学んでもらう場所です。勉強によって知識や経験を学び、併せて、自分を高めるために努力することや自分で自分を律することを学び、人と人がつながりあい大事にし合う等の、社会人として必要なことを学びます。

社会に出て、皆さんが幸せになることができるよう、そのために必要なことを教えるのが、我々、教師の仕事です。

社会に出て絶対必要なことは何か。社会人として、家庭人として必要なことは何か。多くの人とうまく心通わせるために絶対必要なことは何か？それは、挨拶です。

これがゼロだと、人間関係は生まれません。挨拶しないと無視したと受け取られるかもしれません。生まれないどころかマイナスになるかもしれません。挨拶には、不十分な挨拶から素晴らしい挨拶まであります。無愛想に顔も見ないで小さな声で挨拶されても、相手の心に響かないどころか、マイナスの印象を持たれる。これは困ったことです。

素晴らしい挨拶は、相手の目をしっかりと捉え、しっかりと心をコントロールして心からの笑顔で、十分に大きな声で、爽やかにあるいははっきりと、挨拶をすることです。

相手がにっこりと笑い返して、挨拶を返してくれたら、相手の心に響いた証拠。コミュニケーションが取りやすい状態に心がオーブ



ンになっているということです。

社会に出るまでに、素晴らしい挨拶ができるよう、相手がにっこり応えてくれる挨拶ができるよう、トレーニングをしてください。未来の幸せにつなげるためにも。

## トピックス 【3年次学校説明会】

5月2日(金)の3校時目の「MIRAI」の時間に、大学・短大・専門学校の担当者の方を招いた学校説明会が行われました。参加校は大学・短大が28校、専門学校が41校で合計69校でした。会場は3年次教室と体育館を使用しました。体育館はフロア全体に各校のスペースが作られ、平均4~5人の生徒を対象に、担当者が熱心に説明をしていました。生徒の皆さんは前半と後半で各1校の説明を聞くこととなっており、時間になると椅子を持って次の会場に移動していました。

自分の興味・関心、自分の持っている力、その分野の将来性等、いろいろなことを考えながら、学校を選んだと思います。まずは、自分の将来をしっかりと考える時間を増やすことです。3年次とはいえ、もう少し時間があります。自分の将来のために情報を集め、その上で実際に学校や会社に行ってください。そして自分の目でしっかり判断して下さい。かけがえのない自分の未来のために。



## 緑園の授業1 【介護福祉基礎】

5月13日(火)の1校時に、介護福祉基礎の授業に参加しました。この授業は、講師の水高先生が担当なさっていますが、そのバイタリティで生徒の皆さんをぐいぐい惹きつけて、介護職員初任者研修修了(旧ホームヘルパー2級)の資格を取得することを目指す講座です。専門学校の学校以外でこの資格を授業で取得できるのは極めて稀であると聞いています。受講生徒は15名です。

この授業は「社会福祉基礎」を学んでいないと受講資格がありません。いわば実践・応用の科目です。

さて、授業ですが、きちんとした挨拶から開始です。気をつけの姿勢がとれないと先生はもう一度やり直しを指示します。介護の現場は礼に始まり礼に終わらなければいけないことが伝わってきます。

今日のテーマは「介護福祉制度」についてです。豊富な人生経験を交えながら、生徒にポイントをしっかりと伝えていきます。生徒に語りかけ、その反応にきちんと笑顔でやり取りをなさいます。そして、ご自身の経験やお考えを縦横無尽に展開し、決して生徒の気持ちを逸らしません。明るさと真剣さが混じりあった表情、きちんと伝える気持ちのこもった声のせいでしょいか、生徒が前向きに授業を受けようとする気持ちが伝わってきます。

今日の先生の言葉にいくつも心惹かれたものがありました。その中から一つ。「高齢者社会の素晴らしさは、多くのご老人がいて、その方々からいろいろな経験を伝えてもらえる機会があることです。喜びも悲しみも乗り切って来られたのですから、我々にとって多くの学びがあるはずです。」

もう一つ。「介護は大変ですけど、素晴らしい仕事です。だから真剣に学んでほしいんです。」